

# 介護保険「改革」

5/10  
市旗

## 210 地方議会が異議

生活奪う／容認できぬ／国は責任持て

国会で審議中の医療・介護総合法案に関して、全国の210の地方議会が「生活を奪う」「受け皿がない」などとして介護保険「改革」に反対や批判、強い懸念を表す意見書を可決していることが昨日までに分かりました。政府・与党は中旬にも同法案の衆院通過をねらっていますが、国民無視の暴走は許されないと示しています。

法案は、「要支援者」向けサービスの多くを市町村に「譲り受けた」と厳しく批判しています。「高齢者の重症化が進み、介護保険財政を圧迫する」

丸投げし特別養護老人ホーム入所者を要介護3以上に制限するなど、介護保険をさらに使えない制度に変

質させる大改悪を盛り込んでいます。

北海道では、3分の1を

超える自治体が意見書を可

決。「地域格差が生じ、サ

ービス低下や利用料の値上

げにつながりかねない」

(道議会)、「自立した生活

を奪い、介護保険本来の趣

旨に反する」(根室市)、「市

町村には「受け皿」がなく、

格差が生じる」(浦幌町)

などと反対する」(稚内市)、「市

町村に大きな混乱を生ずる」

(奈良県天理市)、「国の責任

制度の持続可能性と公平

性を確保すべき」(三重県龜

山市)と強調しています。

都市近郊の自治体からも

「高齢者の重症化が進み、介護

保険財政を圧迫する」

などの見直しや、介護

保険の財源確保を強く

求めています。

では「理念を壊しかねない

制度変更であり、市町村の

財政負担も軽視できません

到底容認できません」(阿蘇村)と

(東京都武藏野市)との声

強調。他の県でも増税と負

担増・給付抑制の二重負担

は生活への不安をあおる」

(奈良県天理市)、「国の責任

制度の持続可能性と公平

性を確保すべき」(三重県龜

山市)と強調しています。

都市近郊の自治体からも

「高齢者の重症化が進み、介護

保険財政を圧迫する」

などの見直しや、介護

保険の財源確保を強く

求めています。

(神奈川県鎌倉市)、「介護

の社会化に逆行し、制度の

理念を否定するも当然」

が上がっています。

議会レベルでも「急激

な制度変更是事業者や市町

村に大きな混乱を生ずる」

(福島、石川、和歌山、佐

賀など)と強調。サービス

抑制をまねく「事業費の上

限設定」の見直しや、介護

人材確保の財源確保を強く

求めています。